



会報

日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2026年冬号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 会長 長谷川 義

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email : info@nippon-taiko.or.jp

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、新しい良き年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、年頭から大きな話題となったのが、世界が注目する祭典、大阪・関西万博の開催でした。日本中、そして世界中から多くの人々が集い、未来技術や文化の交差点となったあの興奮は、きっと皆さまの記憶にも鮮やかに残っていることでしょう。そして、高市早苗氏が日本初の女性首相に就任し、新たな時代の扉が開かれたことも大きなニュースでした。日本の政治・社会にとって、新たな可能性と希望を感じさせる出来事だったと思います。

日本太鼓財団としましては、会員の皆様のご協力を得て、昨年も多くの実業を実施することができました。特に、大阪・関西万博にて開催いたしました「大阪・関西万博1000人太鼓」には、国内外から111団体・約1,500人が参加されました。

近畿地区の皆さんによる「エネルギー」、そして合同演奏「いのちの響宴」の揃い打ちは圧巻の一言で、集まった約3,800人の観客から大きな拍手が湧きました。事業を実施できましたのも、会員の皆様方のご協力と日本財団並びにポートレース関係者のご支援のおかげと感謝申し上げます。

日本太鼓が国内外において益々普及する中、新しく迎えた2026年は、演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業も、各支部のご協力を得ながら内容を充実させて進めてまいりたいと思っております。

日本の太鼓界を取り巻く昨今の環境は、練習場所の音響対策、地方自治体からの助成金の減少等厳しいものがあります。日本太鼓財団としては、この社会情勢の中においても財団の設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後も図っていくため、支部・会員の皆様との連携を図りながら事業運営に当たりたいと考えております。

結びに、2026年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



公益財団法人 日本太鼓財団
会長 長谷川 義

2026年度主催事業予定

新年度の予定をお知らせします。当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。
なお、正式な決定は3月となります。

■日本太鼓ジャンボリー 2026

2026年7月4日(土)

文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)

■第11回大学太鼓フェスティバル

2026年9月3日(木)

タワーホール船堀(東京都江戸川区)

■第28回日本太鼓全国障害者大会

2026年10月4日(日)

不二羽島文化センター(岐阜県羽島市)

■国民文化祭2026 こうち「太鼓の祭典」

2026年10月25日(日)

高知県立県民文化ホール(高知県高知市)

■第10回浅草太鼓祭

2026年11月3日(火・祝)

隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)

■第23回日本太鼓シニアコンクール

2026年11月22日(日)

松任文化会館ピーノ(石川県白山市)

■第29回日本太鼓ジュニアコンクール

2027年3月21日(日)

とうほう・みんなの文化センター(福島県福島市)

■日本太鼓全国講習会

第75回 2026年9月 調整中

第76回 2027年2月 九州地区予定

第22回日本太鼓シニアコンクール 岩切邦光氏が栄冠に輝く！！

11月16日(日)「石川県小松市團十郎芸術劇場うらら」において第22回日本太鼓シニアコンクールを開催しました。この大会は、経験を積んだシニアプレーヤーたちが味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指しており、第3回・2006年より文部科学大臣賞が下付され、第16回・2019年より内閣総理大臣賞が下付されています。

今大会は15都県から39組101名が参加しました。栄えある名人位となり内閣総理大臣賞を手にしたのは岩切邦光氏(宮崎県・60歳)でした。今回初出場にして見事優勝に輝きました。

ご来場いただきました皆さま並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。



(開会式)



(表彰式)

名人位を獲得して

橘太鼓「響座」 岩切 邦光

このたび石川県小松市開催、第22回日本太鼓シニアコンクールにて名人位を獲得できましたこと、心から感謝と共に喜びをご報告させていただきます。

今回の名人位受賞は、日ごろからの皆様のご支援と温かい励ましがあつたからこそと深く感じております。

太鼓を始めて42年。響座を立ち上げ35年。素直に嬉しいと言う気持ちです。

これまでジュニアコンクールの指導に携わってきましたが、これまでに感じたことがない緊張と地に足がつかないと言うことはこういうことかなと言うことを経験しました。

普段は子供たちに気合いで頑張れ、練習してれば自信はつく、練習が足りないから緊張するんだと、叱咤激励を飛ばしてきましたが、いざ自分がコンクールの舞台に出すと、子供たちはこんな感じなんだとかなり反省しました。

会場に宮崎、九州、全国から駆けつけた太鼓仲間、また孫たちから頑張れと言う声援で余計緊張は増しました。息子響一の伴奏のおかげで、最後まで完奏でき、会場から太鼓仲間、家族、孫たちの拍手が心に染み何とも言えない達成感と、太鼓をやってよかったと思った瞬間でした。

この感激を感じられたのは、この大会を開催運営していただいている日本太鼓財団長谷川会長を始めとした職員の方々、石川県太鼓連盟のスタッフの方々のお陰です。本当にありがとうございました。

自分の好きなことを続ける事は、誰もが難しい事は知っているとありますが、多くの仲間の支えや家族の協力があるからこそ私は実現できると思います。

これから微力ではありますが、よりいっそう今後の和太鼓界の発展のために1人でも多くの子供たちが太鼓をやって良かったと思ってもらえるよう、お力添えできるよう精進して参ります、これからも皆様のご指導いただきますようによりしくお願いいたします。



(名人 岩切邦光・宮崎)

<受賞一覧> (敬称略)

名人位

内閣総理大臣賞 岩切 邦光 (宮崎)

準名人

文部科学大臣賞 松波 広美 (愛知)

第3位

石川県知事賞 齋藤 通夫 (福島)

特別賞

小松市長賞	河合 光夫 (岐阜)
北國新聞社賞	内藤 昭和 (福井)
石川県芸術文化協会賞	村田 謙二 (石川)
日本太鼓財団石川県支部賞	菅原加代子 (長野)
浅野太鼓楽器店賞	大江 正明 (石川)
MRO北陸放送賞	伊藤 房吉 (長野)
テレビ金沢賞	柏木 博光 (熊本)
北陸三県太鼓協会賞	岡本 龍男 (長野)
中日本太鼓連合賞	吉川 大元 (埼玉)



(準名人 松波広美・愛知)



(第3位 齋藤通夫・福島)



(長谷川審査委員長の講評)

審査委員 (敬称略・五十音順)

一川 明宏 (津軽三味線明宏会主宰)
 小山 健吾 (北國新聞社地域ビジネス局事業部係長)
 長谷川 義 (当財団会長) * 審査委員長
 古屋 邦夫 (当財団副会長)
 松枝 明美 (当財団技術委員会委員長)

<出場団体一覧> (敬称略・出場順)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 小松大太鼓 環海 (石川県) | 21. 松井 秀明 (東京都) |
| 2. 邦楽アカデミー めおと太鼓 (東京都) | 22. 好田 知佐子 (神奈川県) |
| 3. 助六太鼓保存会「粹打楽」(東京都) | 23. 高山 春江 (石川県) |
| 4. ゆずり葉 (石川県) | 24. 齋藤 通夫 (福島県) |
| 5. 花太鼓 (東京都) | 25. 長澤 恵子 (栃木県) |
| 6. 讃岐の鼓響 (香川県) | 26. 鈴木 浩 (栃木県) |
| 7. 棗O B A N太鼓 (福井県) | 27. 森田 利昭 (石川県) |
| 8. 和華太鼓 (神奈川県) | 28. 修行 兼一郎 (鹿児島県) |
| 9. 大江 正明 (石川県) | 29. 関和 久美子 (栃木県) |
| 10. 宮井 昭雄 (石川県) | 30. 菅原 加代子 (長野県) |
| 11. 上山 收作 (神奈川県) | 31. 松波 広美 (愛知県) |
| 12. 増田 勝明 (東京都) | 32. 知浦 美智代 (栃木県) |
| 13. 吉川 大元 (埼玉県) | 33. 松野 敏 (東京都) |
| 14. 村田 謙二 (石川県) | 34. 伊藤 房吉 (長野県) |
| 15. 小川 義昭 (石川県) | 35. 岩切 邦光 (宮崎県) |
| 16. 内藤 昭和 (福井県) | 36. 岡本 龍男 (長野県) |
| 17. 柏木 博光 (熊本県) | 37. 得能 力知 (石川県) |
| 18. 小幡 潔 (東京都) | 38. 丹波 良一 (石川県) |
| 19. 河合 光夫 (岐阜県) | 39. 立石 健秀 (東京都) |
| 20. 樽井 建治 (岡山県) | |

スリランカ太鼓公演 ～スリランカ・ハンセン病全国会議にて～

11月4日(火)から11月9日(日)にかけて、スリランカに和太鼓 大元組(東京)を派遣いたしました。これは日本財団及び笹川保健財団より文化交流の一環として和太鼓演奏会開催の派遣要請を受けたもので、日本に対する理解や認識を高めるとともに、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的に実施しました。

11月6日(木)・7日(金)、ハンセン病全国会議レセプションにて太鼓演奏を披露しました。演奏を始



(ハンセン病全国会議レセプションでの演奏)

めると参加者はその迫力に感動し、大きな拍手が贈られ、会場は大いに沸きました。

また会議レセプションの合間には、地元の学校において2度公演を行い、あわせて約1,200名の生徒や学校関係者が集まり、初めての「日本太鼓」の演奏を食い入るように見入っていました。

今回の公演には、スリランカ政府、日本大使館からも多数の出席を得られ、日本太鼓の普及、文化交流の一翼を担うことができました。



(演奏に拍手を送るケラニヤ大学の学生)

スリランカ太鼓公演を終えて

日本財団、笹川保健財団から和太鼓団体の派遣要請が日本太鼓財団にあり、当団体が依頼を受け、実施いたしました。

私たちとしても渡航した事がない国、南アジアの「スリランカ民主社会主義共和国」(旧国称セイロン)。初めての国なので些か不安がありましたが、太鼓財団の役職員の方々が同行していただけたとの事で、目一杯「日本の太鼓文化」を現地の方々にご堪能いただこうと思い、行ってまいりました。

11月4日(火)成田空港を飛び立ち、首都コロomboに夕刻到着。翌日、荷解き・リハーサルを経て6日(木)に2回公演、翌7日(金)には2公演実施。両日とも「ハンセン病国際会議」レセプションで公演をさせていただきました。

6日午前中には地元の公立女子校 Visakha Vidyalyay 校の講堂にて観客約700名の生徒さんに「和太鼓音楽」を堪能して頂きました。皆さん「和太鼓」を初めて観た感がヒシヒシと感じられました。我々もテンションマックスで公演が終わりました。

翌日7日午後には市内にある大学 Kelaniya University 校の講堂にて観客約500名の熱烈な歓迎を受け、最終公演となる舞台!これまでの公演で歓声が多かった曲とスペシャルアレンジ曲を披露しました。南国特有のリズム感とピュアな笑顔、我々演者と共に最高の空間を構築することができました。

スリランカ コロンボの街並みは、イギリス自治領の建造物も多方面に見受けられる一方、インドからの影響もあり仏教徒が7割占めてるとの事で、お寺が各所に点在しており不思議な異文化空間を楽しむことができました。

日本人への関心も高いようで、日本語を話せる方も多かったように感じました。和太鼓を通じて、地元の方々との交流もできて充実した4日間を過ごさせていただきました。

このような素晴らしい機会をご提供下さり、あらためて関係者の皆さまに感謝いたします。

ありがとうございました。

和太鼓大元組 代表 湯澤 元一



(日本財団笹川会長と記念写真)

第14回東北太鼓ジュニアコンクール 11月24日(月) 秋田県能代市「能代市文化会館」

東北太鼓連合主催、東北5県22団体が参加し、無事に終了いたしました。

- 優勝 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)
準優勝 やまばと太鼓(秋田)
第3位 會津田島太鼓ジュニア(福島)
日本太鼓財団賞 涌谷太鼓(宮城)



(優勝 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組・福島)

第8回北海道太鼓ジュニアコンクール 11月30日(日) 北海道岩見沢市「岩見沢市民会館 まなみーる」

日本太鼓財団北海道連合会主催、北海道5支部より21団体が参加し、無事に終了いたしました。

- 優勝 蝦夷太鼓ジュニア(北海道道東)
準優勝 厚真郷芸保存会 Jr.(北海道道南)
第3位 和太鼓鼓楽 Jr.(北海道道北)
日本太鼓財団賞 江別見晴台鼓楽会豊太鼓(北海道道央)



(優勝 蝦夷太鼓ジュニア・北海道道東)

第2回全関東・日本太鼓ジュニアコンクール 11月30日(日) 東京都大田区「日本工学院専門学校 片柳記念ホール」

関八州太鼓連合主催、関東圏7都県より18団体が参加し、無事に終了いたしました。

- 優勝 天城連峰太鼓(静岡)
準優勝 TAKERUの会真(千葉)
第3位 東京都立篠崎高等学校和太鼓部【和桜乱舞】(東京)
日本太鼓財団賞 天城連峰太鼓(静岡)



(優勝 天城連峰太鼓・静岡)

第20回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール 12月21日(日) 福岡県福岡市「福岡市民ホール」

全九州太鼓連合主催、九州7県より36団体が参加し、無事に終了いたしました。

- 優勝 三代目源流(大分)
準優勝 太鼓研修センター「響」(宮崎)
第3位 舞鶴一座 秋月鼓童(宮崎)
日本太鼓財団賞 院内童龍太鼓(大分)



(優勝 三代目源流・大分)

支部予選で全国大会出場権を得ていない団体の中から最上位の団体が、地区予選では全国大会出場権を得ます。当財団技術委員を含めた審査委員会の協議により、予選で全国大会の出場権を得ていない団体の最上位団体であった以下の団体が、全国大会に推薦されることとなりました。

- 北海道大会: 螢太鼓(北海道道南)
東北大会: 會津田島太鼓ジュニア(福島)
全関東大会: 天城連峰太鼓(静岡)
九州大会: 太鼓研修センター「響」(宮崎)

第28回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日:2026年3月22日(日) 開場10:30 開演11:00(予定)

会 場:府中の森芸術劇場 どりーむホール

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-2 Tel.042-335-6211

主 催:公益財団法人 日本太鼓財団

主 管:日本太鼓財団東京都支部

入 場 料:前売券2,000円 ※前売り券のみの販売です。

(チケットぴあにて2月1日10時より販売開始! Pコード317-257)



*今回もYouTubeにより生配信いたします!

会場にお越しになれない方は、右記QRコードよりご覧いただけます。

出場団体:50団体【国内48団体(39都道府県)、ブラジル、台湾代表チーム】(予定)

出場団体及び出場順番は2026年1月16日(金)開催の運営・技術合同委員会にて決定いたします。

予選実施:39支部約330団体約3,000名(海外予選含む) 支部推薦:4団体 支部未開設県:1団体

道 東:蝦夷太鼓ジュニア	岐 阜:麗澤瑞浪中学・高等学校 太鼓部
道 央:江別見晴台鼓楽会豊太鼓	愛 知:尾張新次郎太鼓保存会
道 西:赤平火太鼓保存会	三 重:津 高虎太鼓
道 南:厚真郷芸保存会 Jr.	京 都:京都光華中学高等学校 和太鼓部
道 北:和太鼓 鼓楽 Jr.	大 阪:大阪府立久米田高等学校太鼓部
岩 手:岩手県立大船渡東高等学校	和歌山:高野和太鼓童 DONKAKA
宮 城:丸森夢太鼓	兵 庫:養父太鼓 鼓彩
秋 田:やまばと太鼓	岡 山:ふじた傳三郎太鼓 童
山 形:太鼓道場風の会ジュニア「雷神組」	広 島:広島山陽学園山陽高校和太鼓部山陽太鼓「弾」
福 島:岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組	島 根:掛合太鼓ジュニア
栃 木:宇都宮和太鼓四面会 青龍組	高 知:明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓
茨 城:本陣太鼓	香 川:和太鼓集団 夢幻の会
群 馬:県立安中総合学園高校和太鼓部 飛翔	福 岡:竹下太鼓振興会
埼 玉:駒王太鼓 嵐	佐 賀:大和太鼓保存会 鼓天童子
千 葉:TAKERUの会 真	長 崎:諫早天満太鼓
東 京:都立篠崎高校和太鼓部〔和桜乱舞〕	熊 本:城南火の君太鼓
東 京:都立美原高校和太鼓部 和心響華	大 分:三代目源流
神奈川:鼓粹ジュニア	宮 崎:舞鶴一座 秋月鼓童
静 岡:富岳太鼓 風神組	鹿児島:火の神乙女太鼓 爽
新 潟:新潟万代太鼓 鼓助	北海道:螢太鼓
富 山:越中いさみ太鼓保存会 八雲	東 北:會津田島太鼓ジュニア
石 川:和太鼓サスケ	関 東:天城連峰太鼓
福 井:永平寺龍童太鼓	九 州:太鼓研修センター「響」
山 梨:甲州風林火山塩山太鼓保存会	ブラジル:クリチーバ若葉太鼓
長 野:信濃国松川響岳太鼓子供会	台 湾:山佳彪太鼓

特別出演:橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・第27回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体)

*北海道大会の結果から「螢太鼓」(北海道道南)、東北大会の結果から「會津田島太鼓ジュニア」(福島)が、九州大会の結果から「太鼓研修センター『響』」(宮崎)がそれぞれ推薦されました。

第98回日本太鼓支部講習会（兵庫） 12月20・21日（土日）豊岡市「兵庫県立但馬文教府」

兵庫県支部主催の支部講習会を実施いたしました。地元の兵庫県を中心に、4道府県から23名が受講しました。開会式では兵庫県支部異秀作副支部長から励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間に渡り、受講生たちは熱心に講習を受けていました。

○総合指導/5級基本講座 松枝 明美

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
5級検定 18名受験 18名合格・認定



事務局だより

第41回国民文化祭 第26回全国障害者芸術・文化祭 よさこい高知文化祭2026「太鼓の祭典」出演団体募集中！

2026年10月25日（日）「高知県立県民文化ホール」（高知県高知市）にて開催するよさこい高知文化祭2026「太鼓の祭典」の出演団体を募集中です。詳細は当財団公式サイトからご覧ください。
皆様のご応募をお待ちしております。

期 日：2026年10月25日（日） 開場10：00 開演10：30 終演17：30（予定）
会 場：高知県立県民文化ホール オレンジホール

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目3-30 Tel.088-824-5321

主 催：文化庁、厚生労働省、高知県、よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会、高知市、
よさこい高知文化祭2026高知市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

演奏時間：1団体7分以内（入退場時間を含む）

※希望団体多数の場合は、演奏時間が短くなる場合があります。

演奏曲目：自由

応募受付期間：2026年1月1日（木）から2026年3月31日（火）まで

お問合せ先：公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号 日本財団第二ビル6階

Tel.03-6205-4377 E-mail:jigyoo@nippon-taiko.or.jp

よさこい高知文化祭2026高知市実行委員会事務局

〒781-9529 高知県高知市九反田2-1 高知市文化プラザかるぼーと3階

Tel.088-821-9218 E-mail:kc-051900@city.kochi.lg.jp

新潟県支部 廣川隆夫 支部長が旭日双光章を受章

顕著な功績を挙げた方に授与される旭日双光章を、令和7年秋の叙勲において新潟県支部 廣川隆夫 支部長が受章されました。

廣川氏は2004年から新潟万代太鼓振興会の会長を務められ、2009年には新潟国体で新潟県内の太鼓団体が演奏を披露できる場を整えるなど、日本太鼓の普及・振興に永年尽力されております。

受章おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。



第74回日本太鼓全国講習会（福岡）

期 日：2026年2月21・22日（土日）

会 場：レスポアール久山

〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町久原2603-1 Tel.092-976-2444

主 催：公益財団法人 日本太鼓財団

○総合指導 松枝 明美（技術委員会委員長）

○基本講座

3級基本講座 野方 嘉孝（佐賀県）

4級基本講座 若山 雷門（岐阜県）

5級基本講座（初心者講座） 古屋 邦夫（長野県）

○専門講座

単式単打法講座（担ぎ桶太鼓） 岩切 邦光（橘太鼓「響座」・宮崎）

複式単打法講座 今泉 豊（助六太鼓・東京）

複式複打法講座 長谷川 準（豊の国ゆふいん源流太鼓・大分）

専門講座講話 長谷川 義（日本太鼓財団会長）

申 込 先：ページ下部の公益財団法人 日本太鼓財団までお申込みください。

担当：笠原 E-mail:jigyo@nippon-taiko.or.jp

お問合せ先：日本太鼓財団福岡県支部 事務局長 田中 茂雄 Tel.090-2395-2394

締 切：2026年2月6日（金） *必着

第99回日本太鼓支部講習会（茨城）

期 日：2026年2月28・3月1日（土日）

会 場：神栖市 若松公民館

〒314-0255 茨城県神栖市砂山15 Tel.0479-46-1115

主 催：日本太鼓財団茨城県支部

総合指導／5級基本講座（初心者講座） 松枝 明美（技術委員会委員長）

<お問合せ・申込先>

日本太鼓財団茨城県支部 事務局長 佐藤 正子

〒300-2435 茨城県つくばみらい市筒戸1810-2(株)ニッケン内 Tel.0297-25-2351

第29回代議員会

期 日：2026年7月24日（金）13：00予定

会 場：AP品川（JR品川駅 港南口より徒歩6分）

〒108-0075 東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル8F

参加資格：各支部代議員及び事務局、賛助会員、一般会員、個人会員

*詳細は決まり次第、ご案内いたします。

編集後記：2026年もどうぞよろしくお願ひいたします！今年の目標は生活習慣の改善です！！（高戸）



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

